



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 名

上場会社名 東洋電機株式会社

コード番号 6655 URL <http://www.tovo-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 昇光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 加藤 信

TEL 0568-88-1700

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,918	5.9	74	△52.9	105	△37.1	40	△60.5
24年3月期第2四半期	3,699	3.7	158	211.5	168	156.1	103	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 47百万円 (△49.5%) 24年3月期第2四半期 94百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.74	—
24年3月期第2四半期	12.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	9,027		4,728		51.4
24年3月期	9,368		4,715		49.4

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 4,642百万円 24年3月期 4,631百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,246	1.3	262	△32.3	286	△29.0	152	△38.9	17.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) ティーエムシー株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,388,950 株	24年3月期	9,388,950 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	774,467 株	24年3月期	773,967 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,614,609 株	24年3月期2Q	8,618,913 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	P 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P 5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	P 6
4. 四半期連結財務諸表 .....	P 7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P 9
四半期連結損益計算書 .....	P 9
四半期連結包括利益計算書 .....	P10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P11
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー減税等の政策効果を背景とした耐久消費財の持ち直し等、内需の一部に緩やかな回復がみられたものの、欧州の債務危機問題を背景とした海外景気の減速懸念に加え、円高の長期化、隣国との外交問題による企業業績への影響など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、震災に係る復興需要やIT関連業界など一部の業種に持ち直しの動きが見られたものの、半導体業界の設備投資抑制が続くなど、製造業の生産活動の勢いは依然として弱く、総じて厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは中国、東南アジア圏を中心とした海外市場への拡販や国内顧客への新規・深耕開拓に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,918百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

利益面につきましては、収益性の低い配電盤分野の売上が伸張したことなどによる売上原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加などに伴い、営業利益は74百万円（前年同四半期比52.9%減）、経常利益は105百万円（前年同四半期比37.1%減）、四半期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損30百万円、法人税等合計33百万円などを計上したことにより、40百万円（前年同四半期比60.5%減）という結果になりました。

各セグメントごとの業績は以下の通りであります。

## ① 国内制御装置関連事業

エンジニアリング部門につきましては、印刷制御装置分野が減少したものの、配電盤分野の大幅な増加や監視制御装置分野が伸長したことなどにより当部門の売上高は1,285百万円（前年同四半期比28.7%増）となりました。

機器部門につきましては、半導体業界およびFPD業界向け空間光伝送装置分野が減少したもののエレベータ関連センサが伸長したことなどにより、当部門の売上高は1,059百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

変圧器部門につきましては、半導体業界向け乾式変圧器の低迷や震災に係る復興需要が一巡したことによる受配電用乾式変圧器の減少などにより、当部門の売上高は856百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

以上の結果、国内制御装置関連事業の売上高は3,201百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、セグメント利益は102百万円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

## ② 海外制御装置関連事業

海外制御装置関連事業につきましては、中国現地の日系エレベータ企業向けエレベータセンサの現地生産販売が増加したものの、日系および中国企業向けの受配電盤が減少したことなどにより、当事業の売上高は339百万円（前年同四半期比15.6%減）となり、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント利益38百万円）となりました。

## ③ 樹脂関連事業

樹脂関連事業につきましては、エコカー補助金など政策効果による自動車業界からの需要が増加したことなどにより、当事業の売上高は377百万円（前年同四半期比16.3%増）となり、セグメント利益は12百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

なお、前連結会計年度までセグメントの区分掲記をしておりました「建材関連事業」は、公共投資抑制の影響等によりセグメントに占める割合が僅少になったこと、また、第1四半期連結会計期間より「建材関連事業」と「樹脂関連事業」の二つのセグメントが属する東洋樹脂株において、経営の効率化を図るため「建材関連事業」と「樹脂関連事業」の二つの事業部門を統合したことにより、第1四半期連結会計期間より二つのセグメントを「樹脂関連事業」に一元化いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間における「建材関連事業」の売上高は75百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期はセグメント損失0百万円）であります。

（セグメント別売上高：参考値）

（単位：百万円未満切捨）

区分	平成24年3月期 第2四半期		平成25年3月期 第2四半期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	百万円 2,972	% 80.3	百万円 3,201	% 81.7	百万円 +228	% +7.7
エンジニアリング部門	998	27.0	1,285	32.8	+286	+28.7
機器部門	1,003	27.1	1,059	27.0	+56	+5.6
変圧器部門	970	26.2	856	21.9	△114	△11.8
海外制御装置関連事業	401	10.9	339	8.7	△62	△15.6
樹脂関連事業	324	8.8	377	9.6	+52	+16.3
合計	3,699	100.0	3,918	100.0	+218	+5.9

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ341百万円減少し、9,027百万円となりました。

流動資産は、293百万円減少の6,275百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少236百万円およびたな卸資産の減少95百万円などによるものであります。

固定資産は、47百万円減少の2,752百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少37百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ354百万円減少し、4,298百万円となりました。

流動負債は、291百万円減少の3,091百万円となりました。これは主に、賞与引当金の減少101百万円および未払法人税等の減少70百万円などによるものであります。

固定負債は、62百万円減少の1,207百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少51百万円および退職給付引当金の減少15百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ13百万円増加し、4,728百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が8百万円減少したものの、利益剰余金の増加6百万円および為替換算調整勘定の増加12百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成24年11月1日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありましたティーエムシー株式会社は、平成24年4月1日に当社と吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,520,794	1,575,007
受取手形及び売掛金	3,728,684	3,492,129
商品及び製品	290,671	280,802
仕掛品	513,700	454,997
原材料及び貯蔵品	376,448	349,448
繰延税金資産	110,664	79,819
その他	30,056	43,158
貸倒引当金	△2,198	△360
流動資産合計	6,568,822	6,275,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	549,114	534,586
土地	1,109,287	1,109,287
建設仮勘定	2,698	1,649
その他（純額）	248,554	226,261
有形固定資産合計	1,909,654	1,871,784
無形固定資産		
土地使用権	167,128	170,982
その他	77,966	71,809
無形固定資産合計	245,094	242,792
投資その他の資産		
投資有価証券	332,112	288,107
繰延税金資産	165,093	178,594
その他	152,555	175,975
貸倒引当金	△4,853	△4,853
投資その他の資産合計	644,908	637,825
固定資産合計	2,799,657	2,752,401
資産合計	9,368,480	9,027,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,488,684	1,424,890
短期借入金	1,307,138	1,265,874
未払法人税等	85,308	14,661
賞与引当金	224,534	123,298
その他	277,193	262,634
流動負債合計	3,382,859	3,091,358
固定負債		
長期借入金	554,958	503,078
長期未払金	67,378	67,540
繰延税金負債	5,371	5,371
退職給付引当金	438,238	422,598
役員退職慰労引当金	140,057	145,296
その他	64,315	63,465
固定負債合計	1,270,319	1,207,350
負債合計	4,653,178	4,298,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,085	1,037,085
資本剰余金	857,405	857,405
利益剰余金	2,905,855	2,912,254
自己株式	△177,147	△177,281
株主資本合計	4,623,198	4,629,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,703	29,781
為替換算調整勘定	△29,907	△17,134
その他の包括利益累計額合計	8,796	12,646
少数株主持分	83,306	86,584
純資産合計	4,715,301	4,728,694
負債純資産合計	9,368,480	9,027,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,699,317	3,918,257
売上原価	2,653,105	2,885,739
売上総利益	1,046,211	1,032,518
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	52,433	55,928
給料手当及び賞与	286,553	273,516
賞与引当金繰入額	54,619	48,253
退職給付費用	18,147	19,583
役員退職慰労引当金繰入額	2,464	24,568
福利厚生費	81,253	80,313
旅費及び交通費	38,136	41,747
減価償却費	27,895	29,394
賃借料	25,316	26,670
技術研究費	31,490	45,028
その他	269,114	312,701
販売費及び一般管理費合計	887,425	957,706
営業利益	158,786	74,812
営業外収益		
受取利息	1,497	671
受取配当金	9,669	10,662
受取賃貸料	9,221	9,064
生命保険配当金	—	21,454
雑収入	8,772	9,934
営業外収益合計	29,161	51,787
営業外費用		
支払利息	13,658	13,082
不動産賃貸原価	5,517	5,633
雑損失	524	2,001
営業外費用合計	19,700	20,717
経常利益	168,247	105,882
特別利益		
固定資産売却益	4,437	14
特別利益合計	4,437	14
特別損失		
固定資産除却損	4,527	205
投資有価証券評価損	—	30,494
特別損失合計	4,527	30,699
税金等調整前四半期純利益	168,157	75,197
法人税、住民税及び事業税	48,337	11,706
法人税等調整額	10,051	22,233
法人税等合計	58,389	33,940
少数株主損益調整前四半期純利益	109,768	41,256
少数株主利益	6,271	397
四半期純利益	103,496	40,858

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109,768	41,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,619	△8,922
為替換算調整勘定	3,839	15,652
その他の包括利益合計	△14,780	6,730
四半期包括利益	94,988	47,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,010	44,708
少数株主に係る四半期包括利益	6,978	3,277

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信（参考資料）

東洋電機株式会社

## 1. 経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、震災復興需要や政策効果等により、内需の一部を中心に緩やかに回復しておりましたが、円高の長期化や海外景気の減速、さらには隣国との外交問題による企業業績への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、半導体業界の設備投資抑制が続くなど、製造業の生産活動の勢いは依然として弱く、総じて厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは中国、東南アジア圏を中心とした海外市場への拡販や、国内顧客への新規・深耕開拓に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,918百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

利益面につきましては、収益性の低い配電盤分野の売上が伸長したことや販売費及び一般管理費の増加にともない、営業利益は74百万円（前年同四半期比52.9%減）、経常利益は105百万円（前年同四半期比37.1%減）、四半期純利益は、法人税等合計33百万円などを計上したことにより、40百万円（前年同四半期比60.5%減）となりました。

## ①連結

（単位：百万円未満切捨、%）

	平成21年9月期	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	3,245	3,566	3,699	3,918	218	5.9
営業利益	△ 88	50	158	74	△ 83	△ 52.9
経常利益	△ 66	65	168	105	△ 62	△ 37.1
四半期純利益	△ 125	△ 1	103	40	△ 62	△ 60.5

## ②個別

（単位：百万円未満切捨、%）

	平成21年9月期	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	2,677	3,056	3,163	3,169	5	0.2
営業利益	△ 60	44	96	33	△ 63	△ 65.5
経常利益	△ 7	88	138	86	△ 51	△ 37.3
四半期純利益	△ 37	26	84	77	△ 6	△ 8.3

## ③セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨、%）

区分	平成23年9月期		平成24年9月期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	2,972	80.3	3,201	81.7	228	7.7
エンジニアリング部門	998	27.0	1,285	32.8	286	28.7
印刷制御装置分野	419	11.3	233	6.0	△185	△ 44.4
監視制御装置分野	320	8.7	445	11.4	124	38.8
搬送制御装置分野	45	1.2	152	3.9	106	235.6
配電盤分野	213	5.8	454	11.6	240	112.8
機器部門	1,003	27.1	1,059	27.0	56	5.6
空間光伝送装置分野	183	5.0	167	4.3	△ 16	△ 8.8
センサ分野	661	17.9	745	19.0	83	12.7
表示器分野	157	4.2	146	3.7	△ 11	△ 7.1
変圧器部門	970	26.2	856	21.9	△114	△ 11.8
海外制御装置関連事業	401	10.9	339	8.7	△ 62	△ 15.6
樹脂関連事業	324	8.8	377	9.6	52	16.3
合計	3,699	100.0	3,918	100.0	218	5.9

## 2. 財政状況

前連結会計年度末に対する総資産の減少要因は、流動資産における受取手形及び売掛金の減少236百万円およびたな卸資産の減少95百万円、固定資産における有形固定資産の減少37百万円減などによるものです。

前連結会計年度末に対する純資産の増加要因は、利益剰余金の増加6百万円などによるものです。

### ①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年3月期	平成24年9月期	前期比増減
総 資 産	9,368	9,027	△341
純 資 産	4,715	4,728	13
自 己 資 本 比 率	49.4%	51.4%	－
1株当たりの純資産	537円67銭	538円87銭	－

### ②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成24年3月期	平成24年9月期	前期比増減
総 資 産	8,318	8,007	△311
純 資 産	4,446	4,480	34
自 己 資 本 比 率	53.5%	56.0%	－
1株当たりの純資産	516円18銭	520円12銭	－

## 3. キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、861百万円となり、前連結会計年度末に比べ、65百万円増加しました。

営業活動の結果得られた資金249百万円の主な内訳は、売上債権およびたな卸資産の減少などによるものです。

投資活動の結果使用した資金53百万円の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出などによるものです。

財務活動の結果使用した資金131百万円の主な内訳は、長期借入金の返済による支出などによるものです。

### ①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期	平成24年9月期	平成24年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	249	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 118	△ 53	△ 142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 116	△ 131	△ 36
現金及び現金同等物の期末残高	839	861	795

### ②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期	平成24年9月期	平成24年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	58	164	△ 31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 194	△ 33	△ 148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 46	△ 74	88
現金及び現金同等物の期末残高	418	619	509

## 4. 配当状況

当社の株主に対する利益還元につきましては、経営の重要施策として位置付けており、財務体質ならびに経営基盤の強化を図りつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本としております。

従いまして、当連結会計年度における配当金につきましては、中間配当として1株あたり4円、期末配当は4円の予定で、年間8円とさせていただきます。予定であります。

なお、内部留保資金につきましては、経営環境の変化に対応できる企業体質の確立と、今後の事業展開に向け、既存事業の体質強化、新事業・新技術の開発促進、経営効率の向上を図るための投資などに活用し、さらなる事業競争力の強化に取り組んでまいります。

5. 設備投資状況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの設備投資は、業績を勘案しつつ設備投資を実施し、将来に向けた必要最小限の設備投資を実施しました。

主な投資内容は、国内制御装置関連事業および海外制御装置関連事業における老朽化した生産設備の更新等です。

なお、下期の設備投資につきましては、主に国内制御装置関連事業および樹脂関連事業における生産設備の更新や老朽化設備の改修等を中心に今後の業績等を勘案しながら進めてまいります。

①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期 (実績)	平成24年9月期 (実績)	平成25年3月期 (下期見込)	平成25年3月期 (通期見込)	平成24年3月期 (実績)
設備投資	40	66	209	276	152
減価償却額	93	80	122	203	189

②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期 (実績)	平成24年9月期 (実績)	平成25年3月期 (下期見込)	平成25年3月期 (通期見込)	平成24年3月期 (実績)
設備投資	31	23	122	145	70
減価償却額	51	46	74	121	102

6. 研究開発状況

当第2四半期連結累計期間の研究開発は、主に国内制御装置関連事業および樹脂関連事業において、事業戦略に合致した新市場への新製品開発を推進するとともに、テーマごとに優先度を検討し、効率的な開発活動に取り組んでまいりました。

主な研究開発は、オンデマンド・モニタリング・システム技術の研究など将来に向けた新技術の研究などテーマごとに大学などの研究機関や民間企業との共同研究を積極的に推進し、研究開発の迅速化、効率化に努めてまいりました。

なお、下期の研究開発につきましては、今後の業績を勘案しながらも、将来に向けた新技術や新製品の開発に取り組み、市場ニーズに対応した新製品の早期提供に努めてまいります。

①連結

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期 (実績)	平成24年9月期 (実績)	平成25年3月期 (下期見込)	平成25年3月期 (通期見込)	平成24年3月期 (実績)
技術研究費 (製品改良費含む)	82	82	82	164	171

②個別

(単位：百万円未満切捨)

	平成23年9月期 (実績)	平成24年9月期 (実績)	平成25年3月期 (下期見込)	平成25年3月期 (通期見込)	平成24年3月期 (実績)
技術研究費 (製品改良費含む)	82	81	81	162	171

7. 当期通期の業績予想

通期業績予想につきましては、最近の景況ならびに業績動向を踏まえ、平成24年5月10日に公表いたしました平成25年3月期の通期業績予想数値（連結・個別）を平成24年11月1日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、下記のとおり修正しております。

①連結

（単位：百万円未満切捨、％）

	平成24年3月期	平成25年3月期予想	対前期比増減額	対前期比増減率
売上高	8,101	8,246	145	1.8
営業利益	398	262	△ 135	△ 34.1
経常利益	420	286	△ 133	△ 31.8
当期純利益	242	152	△ 89	△ 37.0

②個別

（単位：百万円未満切捨、％）

	平成24年3月期	平成25年3月期予想	対前期比増減額	対前期比増減率
売上高	6,886	6,727	158	△ 2.3
営業利益	236	156	△ 79	△ 33.6
経常利益	332	237	△ 94	△ 28.4
当期純利益	179	150	△ 28	△ 16.0

③通期予想セグメント別売上高

（単位：百万円未満切捨、％）

区分	平成24年3月期		平成25年3月期予想		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	6,699	82.7	6,872	83.3	172	2.6
エンジニアリング部門	2,562	31.6	2,584	31.3	21	0.9
印刷制御装置分野	843	10.4	577	7.0	△ 266	△ 31.6
監視制御装置分野	827	10.2	837	10.2	10	1.2
搬送制御装置分野	97	1.2	270	3.3	172	176.7
配電盤分野	793	9.8	899	10.9	105	13.3
機器部門	2,126	26.3	2,307	28.0	180	8.5
空間光伝送装置分野	353	4.4	344	4.2	△ 9	△ 2.6
センサ分野	1,415	17.5	1,635	19.8	220	15.5
表示器分野	357	4.4	327	4.0	△ 30	△ 8.5
変圧器部門	2,010	24.8	1,980	24.0	△ 30	△ 1.5
海外制御装置関連事業	661	8.2	610	7.4	△ 51	△ 7.7
樹脂関連事業	740	9.1	764	9.3	24	3.3
合計	8,101	100.0	8,246	100.0	145	1.8

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上